

DV（ドメスティック・バイオレンス）のない明るい社会を

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、夫婦や恋人同士の間で殴る、蹴るなどの暴力のことです。最近、テレビや新聞などの報道でDVという言葉が耳にするようになりました。このような暴力がエスカレートし、殺人事件に発展する深刻な事件が報道されています。

内閣府の統計（平成20年度）では、「3人に1人の女性が夫から暴力を受けた経験がある」という結果があります。これは、殴る、蹴るといった暴力だけではなく、「心理的な攻撃」や「性的行為の強要」も含まれています。夫婦、恋人同士だからといっても、暴力は許されず、暴力を振るう行為が悪いのです。暴力を受けた人は「自分が悪い」「しかたがない」と思うものでもありません。DVは身近に起っていることなのです。悩んでいる人は、1人だけではありません。

「3人に1人の女性が夫から暴力を受けた経験がある」という結果を受け止め、DV被害に遭っている人に「どこかに相談しよう」と伝えるだけでもDVは少しずつ防ぐことが出来ます。みんなで暴力のない社会を目指しましょう。

一人で悩まずに
相談しましょう

- ▶ DV相談ナビ ☎0570-0-55210
- ▶ DV・性暴力（性虐待）・人身売買被害者支援
ホットライン ☎0120-37-7867
- ▶ DV被害相談（十和田市役所内）☎23-5111内線271



女性に対する暴力根絶のための
シンボルマーク

■DVは人権侵害です

夫婦や恋人など親密な関係で行われる暴力には、身体的な暴力に限らず、精神的、経済的、性的な暴力などいろいろなものがあります。暴力は相手の尊厳を傷つける重大な人権侵害です。

■子どもへの影響が懸念されます

両親の暴力を見て育った子どもが暴力によるコミュニケーションを学習し、将来DVの加害者や被害者になる「暴力の世代間連鎖」という事例が報告されています。



市民図書館に
ありますよ。



『あなたは主婦が好きですか？』

著者 石川有貴

「うちの奥さん、いつも機嫌が悪いんだヨ。何でかなー？」という鈍感力全開の夫たち！家庭の主婦の日常と本音がわかる1冊。



『オンナらしさ入門(笑)』

著者 小倉千加子

10代の女性の感情を心理学者の視点から分析。母と娘で読んでみては？



十和田市男女共同参画
推進シンボルマーク

■編集 平成21年度十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員

天間久美子・中野渡明美・洞内貴子

ご意見をお待ちしています

■連絡先 十和田市総務課広報男女参画係 ☎235111内線155